



みえスタディ・チェック ～学ぶ喜び、わかる楽しさを子どもたちに～



子どもたちの学力が向上することは、自己肯定感やチャレンジする力を高め、将来の夢を実現するための可能性や選択肢を広げます。

三重県教育委員会では、子どもたち一人ひとりが、今、求められている確かな学力（「基礎・基本」「活用する力」「主体的に学習に向かう意欲」など）をしっかりと身に付け、子どもたちが「学ぶ喜び」「わかる楽しさ」を実感し、自らの夢や希望がかなえられるよう学力向上に取り組んでいます。

その取組の1つとして、子どもたちが主体的に学習に取り組む意欲を育むとともに、各学校での授業改善や個に応じた指導等につなげるため、平成26年度から「みえスタディ・チェック」を実施しています。

みえスタディ・チェックがめざすもの

- ・子どもたちに確かな学力を育み、子どもたちの「わからない」「できない」を「わかった!」「できた!!」の笑顔につなげます。
- ・自尊感情、自己肯定感、チャレンジする力を育みます。
- ・学校全体での年間を通じた授業改善や子ども一人ひとりのきめ細かな指導につなげます。

みえスタディ・チェックの問題内容について

- ・みえの子どもたちのつまずきに対応した**オリジナル問題**です。
- ・***学習指導要領**の各教科の目標や内容に沿った「**活用する力**」を問う問題が出題されています。



みえけんの
オリジナル問題!



- ・これまでの全国学力・学習状況調査やみえスタディ・チェックで課題となっている内容（例えば、国語では、引用して自分の考えを書くこと、根拠をもとに自分の考えを書くこと、算数では、割合、図形など）の問題を**継続的に**出題しています。

○本年度も、次のようにみえスタディ・チェックを実施します。

	第1回	第2回
実施基準日	平成30年4月17日(火)	平成31年1月30日(水)
実施期間	4月11日(水)～5月11日(金)	1月15日(火)～2月15日(金)
対象学年	小学校第4・5学年 中学校第1・2学年	小学校第5学年 中学校第2学年
実施教科	国語、算数・数学、理科	国語、算数・数学

***学習指導要領**：全国の国公立すべての、高等学校・中学校・小学校・幼稚園・盲学校・聾学校・養護学校で教える内容や授業時間などを文部科学省が決めたもの

「みえスタディ・チェック」 って、どんな問題？

○この問題は、あたえられた情報をもとに、重さを測定することができるかを問う問題と、複数の情報の中から必要な情報を選び、判断した理由を記述できるかを問う問題です。



③ たかしさんは、家でホットケーキを作ることになりました。ホットケーキ3人分を作るのに必要な材料と家にある材料は、下のとおりです。

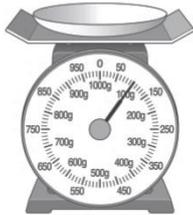


材料(3人分)
・ホットケーキの粉 150g
・たまご 1個
・牛にゅう 100mL

家にある材料

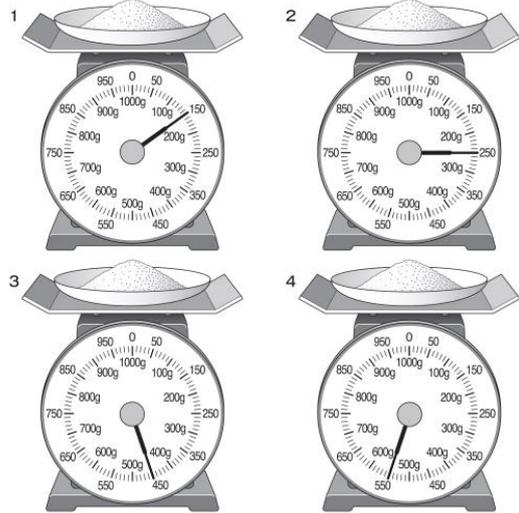
- ・ホットケーキの粉 450g
- ・たまご 5個
- ・牛にゅう 200mL

はかりを使ってホットケーキの粉3人分の重さをはかります。まず、はかりに容器だけをのせてはかると、はかりの目もりは下の図のようになりました。



※平成 29 年度第 2 回小学校算数 5 年生より抜粋

(1) ホットケーキの粉3人分の重さを正しく表している図を、下の1から4までのの中から1つ選んで、その番号を書きましょう。



(2) たかしさんは、家にある材料を使って、できるだけ多くのホットケーキを作ります。

家にある材料を使うと、何人分のホットケーキを作ることができますか。下の1から4までのの中から正しいものを1つ選んで、その番号を書きましょう。また、その番号を選んだわけを、言葉と式を使って書きましょう。

- 1 3人分 2 6人分 3 9人分 4 15人分

ワークシートで学び直しができます。



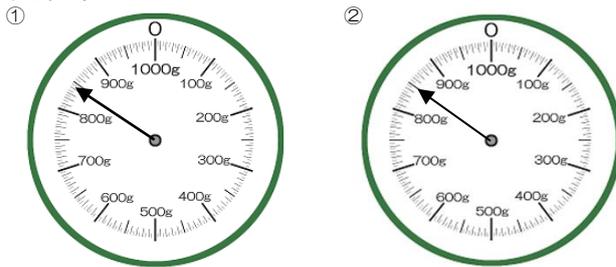
<小学校3年生>
量と測定(いろいろな単位と測定)
重さを調べよう

年 組 名前

① つぎの重さは、()の中のどれが一番近いでしょうか。近いものをえらんで○をつけましょう。

- ①ドッジボール1この重さ(10kg 3kg 300g)
- ②一りん車1台の重さ(14kg 4kg 0.4kg)
- ③2Lのペットボトルに入っている水の重さ(2kg 200g 20g)

② みかん5こをはかりにのせると、はりは①のように、めもりとめもりの間をさしました。そこで、はりをめもりに合わせるために1円玉を1まいずつのせていくと、6まいのせたとき②のようになりました。みかん5この重さをもとめましょう。



(重さをもとめるためのしきや言葉、答えを書きましょう。)

(1) の問題では、容器の重さを考えずに1と解答した児童が3割近くいました。

【平均正答率：56.6%】

(2) の問題では、何人分作れるかを判断するために、それぞれの材料が何人分あるかを求め、いちばん少ない材料の人数分しか作ることができないことを言葉と式を使って表現することに課題がありました。

【平均正答率：17.3%】

<編集・発行> 平成 30 年 4 月発行
〒514-8570 津市広明町13
三重県教育委員会事務局
学力向上推進プロジェクトチーム
TEL 059-224-2931
FAX 059-224-3023

(<http://www.pref.mie.lg.jp/KYOIKU/HP/>)
本リーフレットは、三重県教育委員会ホームページからダウンロードすることができます。ご利用ください。

